【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第７区分
【発行日】平成29年1月12日(2017.1.12)

【公開番号】特開2015-202919(P2015-202919A)
【公開日】平成27年11月16日(2015.11.16)
【年通号数】公開・登録公報2015-071
【出願番号】特願2014-81935(P2014-81935)
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｈ　7/14　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　15/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｈ　7/14
Ｇ０３Ｇ　15/00　５１８
Ｇ０３Ｇ　15/00　３０３

【手続補正書】
【提出日】平成28年11月29日(2016.11.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
シート材の情報を検出する情報検出手段と、
前記情報検出手段が検出した前記シート材の情報に基づいてシート材を判別する判別手段と、
装置内における所定位置でのシート材の有無を検知するシート材有無検知手段とを備えており、
前記シート材有無検知手段によりシート材が有ると検知されてから所定のタイミングで、前記情報検出手段によるシート材情報の検出を開始するシート材判別装置において、
前記シート材有無検知手段として前記情報検出手段を兼用したことを特徴とするシート材判別装置。
【請求項２】
請求項１に記載のシート材判別装置において、
少なくとも前記シート材を載置するシート材載置部及び前記情報検出手段が設けられた筐体を有しており、
前記筐体に設けられた挿入口から前記シート材載置部と前記情報検出手段との間にシート材を挿入し、前記筐体に対して該シート材を移動させて、前記情報検出手段によりシート材有無検知及びシート材情報検出を行うことを特徴とするシート材判別装置。
【請求項３】
請求項１または２に記載のシート材判別装置において、
前記情報検出手段は、シート材の表面に発光手段を発光させて照射した光を受光手段で受光して該シート材の情報を検出するものであり、
前記情報検出手段は、前記受光手段の受光量の変化に基づいてシート材の有無を検知することを特徴とするシート材判別装置。
【請求項４】
請求項３に記載のシート材判別装置において、
前記情報検出手段は前記受光手段を複数有しており、

前記受光手段には、前記発光手段より照射された光のうち、前記シート材を透過した光を受光する透過光受光手段が少なくとも含まれており、
前記透過光受光手段の受光量に基づいてシート材の有無を検知することを特徴とするシート材判別装置。
【請求項５】
請求項３または４に記載のシート材判別装置において、
前記発光手段の発光を制御する発光制御手段を有しており、
前記情報検出手段によるシート材無し検知時の前記発光手段の発光量を、前記情報検出手段によるシート材有り検知時の前記発光手段の発光量よりも減少させることを特徴とするシート材判別装置。
【請求項６】
請求項３または４に記載のシート材判別装置において、
前記発光手段は複数の発光部を有しており、
前記情報検出手段によるシート材無し検知時に発光させる前記発光部の数を、前記情報検出手段によるシート材有り検知時に発光させる前記発光部の数よりも減らすことを特徴とするシート材判別装置。
【請求項７】
請求項１、２、３、４、５または６に記載のシート材判別装置において、
画像形成装置と通信可能な通信手段を有することを特徴とするシート材判別装置。
【請求項８】
シート材に画像を形成する画像形成手段と、
前記シート材の情報を検出し該シート材の判別を行うシート材判別装置とを備えた画像形成装置において、
前記シート材判別装置として、請求項１、２、３、４、５、６または７に記載のシート材判別装置を画像形成装置外部に設けたことを特徴とする画像形成装置。